

げ さ し が わ す す し ぜん か ん き ょ う さ い せ い 慶佐次川で進められている自然環境再生

慶佐次川自然環境再生の取り組み紹介

げ さ し が わ か り ゅ う い も の せ い そ く ば し ょ さ い せ い 慶佐次川の下流に生き物の生息する場所を再生します！

むかし 昔はたくさんいたボラやテナガエビなどが住めるような河川環境に戻すため、ワンド（深み）を作りました。

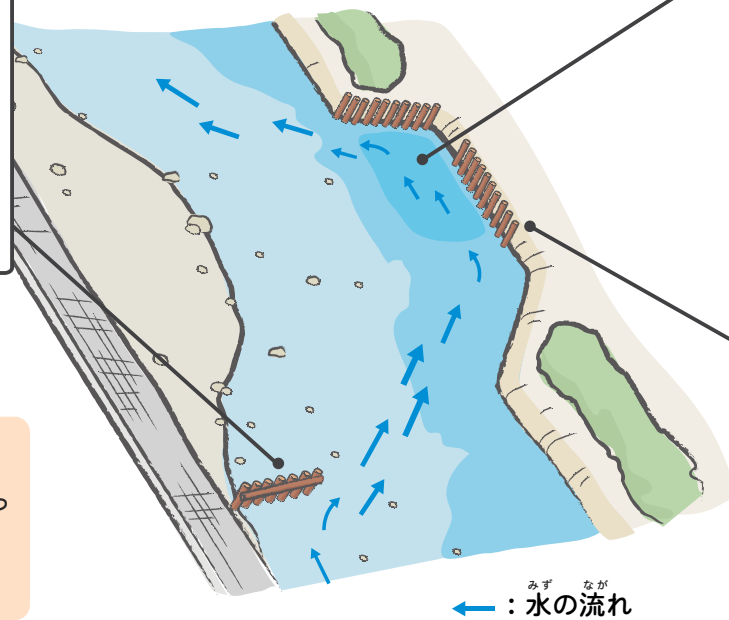
水制工

洪水時に、川の流
れを曲げて、ワンドに水
の流れを向けること
で、ワンドにたまった
土砂を押し流します。



注意 ワンドには入らないでください！

ワンドを作ったことで、エビやボラなどの生き物が戻っ
てきています。おどろかさないようにしましょう。
また、ワンドの底はぬかるんでいるのでケケンです。



←：水の流れ

ワンド

川岸を掘り込み、流
れのゆるやかな深みをつ
くことで、エビや
ボラが住みやすい環境
にしました。



ワンドの補強

洪水時の強い流れで
ワンドの岸がくずれな
いように、木の杭で補
強をしました。



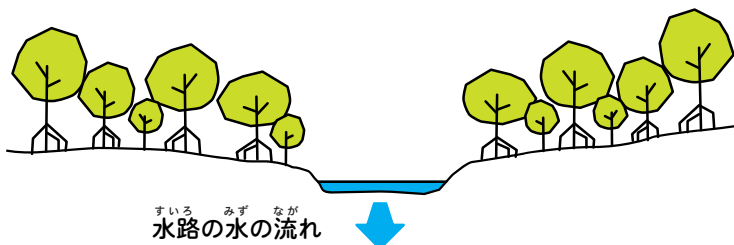
マングローブの水路にたまった土砂を取り除き、マングローブの陸化を防ぎます！

慶佐次川のマングローブやその中を流れる水路には、上流から流
れてきた土砂がたまり、このままでは、どんどん土砂がたまり、や
がてマングローブが陸地化してしまうおそれがあります。

そのため、マングローブ内を流れる水路の土砂を取り除き、水の
流れを良くすることで、土砂がたまりにくくします。

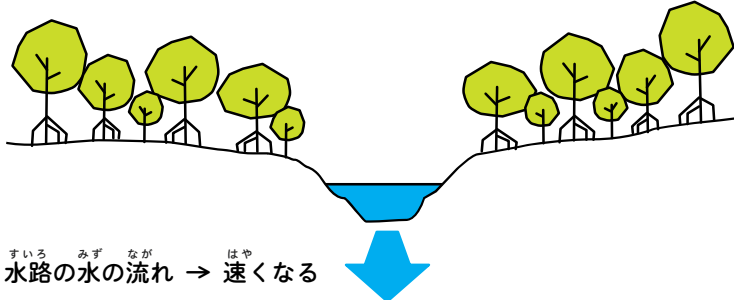
水路の土砂を取り除き、水の流れをスムーズにする

対策前



水路の水の流れ

対策後



水路の水の流れ → 速くなる



1977年頃



2017年

慶佐次川マングローブ周辺は土砂の堆積により
川幅や水路幅がせまくなっています。



水路入り口

水路内に土砂がたまり、マングローブの
中に川の水が入りにくくなっています。

外来の植物を取り除き、慶佐次川本来の姿に戻します！

慶佐次川のマングローブには、外国から持ち込まれた植物（モクマオウ）が
入り込み、どんどん増えています。あまり増えすぎると、ヒルギなどのもとも
といた植物の育つ場所が奪われてしまいます。

そのため、慶佐次川マングローブに入り込んだ外来の植物（モクマオウ）を
取り除く取り組みをしています。

外来の植物：モクマオウ

